



自治会は、同じ地域に住む人たちが構成された最も身近な住民自治組織で、自分たちが暮らす地域の生活環境の保全や向上に取り組んできました。

しかし、かつてのご近所付き合いを前提とした全員参加型の地域活動は、社会環境の変化によって難しい

社会や価値観が変化 自治会加入率は7割を切る

自治会と 行政の これから

現在、市では自治会加入を促進するため、北本市自治会連合会と連携して市内転入者や自治会未加入者へ加入を働きかけています。

具体的には、市役所の転入手続きの際に、自治会加入の案内チラシを配布。また、自

住みよいまちをつくるため 市として自治会を支援

将来にわたり安心・安全な住みよいまちを維持していくためには、新たな住民や未加入者に自治会活動の理解を深めてもらい、加入を促していく必要があります。

また、ご近所付き合いを大切にす

お気軽に
お問い合わせ
ください！



関くらし安全課市民協働担当 (☎ 594-5521)

自治会長に就任した皆さんが自治会のことを理解できるように、「自治会長説明会」を開催。その際に自治会業務等を分かりやすく解説した「自治会長ハンドブック」を配布しています。

また、自治会の取組みの好事例を発表して広く情報共有する「全員研修会」を自治会連合会で開催しています。

さらに、昨年度末から「自治会加入促進プロジェクト」を立ち上げ、自治会長や自治会長OB、若い年代や女性等の様々な皆さんからご意見を伺い、方策を検討しています。

この新しい取組みも、市は自治会連合会の事務局として関わっています。

今後も活動を継続するためには、自治会の自己改革も必要になってきます。市としても、加入促進を支援し、市から依頼している様々な業務を見直したり、電子化を進めるなどとして、自治会の負担軽減を推進します。

近年では、災害時などのいざというときに備えた、地域活動の大切さが改めて認識されています。市民の皆様には、ぜひ自治会に加入していただき、地域との絆を深めて、より住みよいまちをつくっていただければと思います。



浅間会館で毎週「とまちゃん体操」を開催

自治会館を拠点に 4自治会が防災連携

東間1・2・3・4丁目自治会04

浅間会館前で防災訓練を実施

「東間1・4丁目地区の広域避難所は宮内中学校ですが、国道17号を越えなければならず、高齢者にはかなりの距離です。そこで、地元でしっかり安否確認できる体制を作ろうと、4自治会が合同運営する浅間会館（浅間神社）を拠点に、自主防災組織を立ち上げることにしました。」そう語るのは、平成29年度より令和2年度に東間3丁目自治会長を務めた高橋誠さん。他の3自治会に呼びかけて平成29年・30年度東間1・2・3・4丁目自主防災会を立ち上げました。合同なら補助金もまとまった額が使えることから、 TENTや発電機などの大きな資材を購入し、神社内の倉庫に保管しています。

自主防災会では、毎年合同で防災訓練を行っています。人命救助や搬出訓練のほか、アルファ米の炊き出しなど人が集まるメニューを実施。中でも一番の特徴は、安否確認訓練です。災害発生を想定し、浅間会館へ避難してきた人が拡大印刷した住宅地図に各世帯の安否状況を書き込んでいくもの。「この家はガスが止まったとか、水が出ないとか、そういった状況がこれ一枚で確認できます」と東間1丁目前自治会長の荒井恒明さんは言います。

令和4年8月には、県・市・警察・自衛隊・消防等による「九都県市総合防災訓練」に参加。消火訓練や瓦礫からの救助、自衛隊と合同のカレーの炊き出しなども行いました。こうした活動が評価され、令和6年

自治会は、「何かあったら助けてね」と言える関係づくり。

1月には県知事表彰も受けています。

4自治会の連携は防災にとどまりません。令和元年からは浅間会館を拠点に合同で介護予防体操「イキイキとまちゃん体操」の通いの場を毎週金曜日に開催。サポーターの高橋幸子さんは「毎週20〜30人が参加しています。終わると『次の金曜日に会おうね』って声をかけ合ふんです」と話します。そのほか、グラウンドゴルフや納涼祭を合同で開催したり、学区の異なる子どもたちが合同で太鼓を発表するなど、垣根を越えて子どもも大人も交流する機会を作り続けています。

東間3丁目現自治会長の小坂井雅夫さんは言います。「自治会のカギは防犯・防災・ごみ。ここで助け合うためにおまつり等のイベントで顔見知りになっておくんです。自治会は何かをやってくれる組織ではなく、皆が協力しているんなことをやるための組織です」

災害時に助け合うため、進化する東間1・2・3・4丁目自治会。高齢で自治会を退会する人も増える現在ですが、皆さんは「高齢だからこそ自治会で『何かあったら助けてね』と言える関係を作っておいてほしい。そのために自治会が必要」と話してくださいました。



住宅地図に安否状況を書き込む

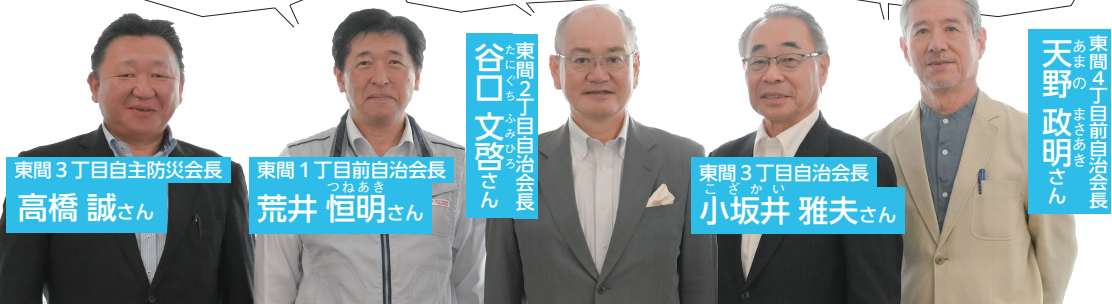
Pick Up 浅間神社敷地の災害時協力井戸

能登半島地震から学び、浅間神社では敷地内に井戸を掘り、「災害時協力井戸」として市に登録しています。災害時に水の供給が困難になった場合でも、この井戸から生活用水を手に入れることができます。



自治会長を経験して、わからないなにかでも頼まれたことに真摯に向き合い、カープミラー設置の要望などい、生懸命やっていたら、地域でよく信頼されるようになりました

役員の人選は本当に大変。世帯を回ってもやってくれる人はなかなか見つかりません。輪番にして、班長さんみんなで協力してやってもらえたら一番いいですね



東間3丁目自主防災会長
高橋 誠さん

東間1丁目前自治会長
荒井 恒明さん

東間2丁目自治会長
谷口 文啓さん

東間3丁目自治会長
小坂井 雅夫さん

東間4丁目前自治会長
天野 政明さん